



# むぎの郷

August 2016

つうしん

発行/麦の郷情報管理委員会  
〒640-8301 和歌山市岩橋643  
TEL(073)474-2466 FAX(073)474-4637  
<http://www.muginosato.jp>

“麦の郷とは” 住民のニーズから生み出され、  
住民の手によって育てられる

ソーシャルファームピネル/くろしお作業所/くろしお作業所分場/  
麦の郷訪問看護ステーション/麦の郷居住福祉事業所/はぐるま共同作業所/  
はぐるま共同作業所 和の杜/はぐるま共同作業所 ラ・テール/  
けいじん舎/麦の郷印刷/障害者就業・生活支援センター「つれもて」/  
麦の郷 和歌山生活支援センター/麦の郷紀の川生活支援センター/  
ハートフルハウス 創/おぎピース/障害児者サポートセンター「麦の郷」/  
こじか園/第二こじか園/こじか親子教室/ソーシャルファームもぎなた/  
Po-zzk/六星舎/事務所/麦の郷障害者地域リハビリテーション研究所



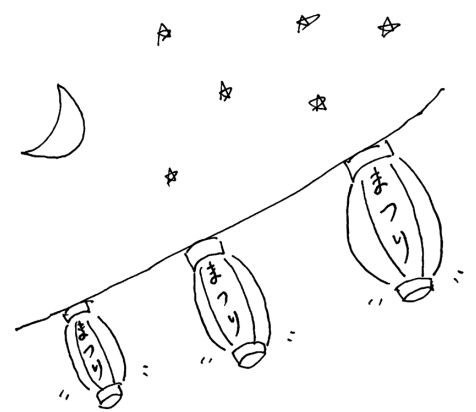
第22回 西和佐地区・麦の郷夏祭り 8.4(木)



第39回 障害者・市民の夏まつり 7.16(土)



おどるんや  
～紀州よさこい祭り～ 8.6(土)/7(日)



## 私たちのめざすもの ～麦の郷4つの理念～

- 1).麦の郷は、日々学び、育み、発信し続ける人材を育成し、地域福祉の発展を目指します。
- 2).私たちは、ものづくりを通じて障害のある人と地域の共存を実現し、互いに豊かになる実践を目指します。
- 3).私たちは、社会的不利の状態におかれている人々の課題を解決するために、広範な人々をつながりを深め、ともに社会変革をめざします。
- 4).麦の郷は、全ての人々が平和で安心して暮らせる社会づくりのために人の輪を紡いでいきます。



# 麦の郷40周年

## ■40周年記念実行委員会発足にあたって

麦の郷は1977年の前身の「たつこの共同作業所」発足より40周年を迎えることとなりました。これも一重に多くのみなさまからのご支援ご協力があったからこそ深く感謝致します。そして昨年9月より「麦の郷40周年記念実行委員会」を立ち上げ、今回の40周年のテーマを「感謝を胸に つむぎ、つないで、つたえよう」と題して、映像作成・記念冊子・商品開発・職員研修・シンポジウム・余暇支援という6つの部門を立ち上げました。

また40周年記念期間を2016年3月1日から2017年3月31日までという1年間と設定し、各部門より様々な企画や行事をおこなうことで、仲間の思いを形にし、職員の学びの機会を設けて、関わる多くの方々が40周年を喜び、楽しめ、共感できるものとしていけるよう努力いたします。

(武田)

## ■商品部

新商品開発の案について話し始めたのは、梅の蕾が少し膨らみ始めた春先の頃でした。

麦の郷が40周年を迎えるこの年に、記念となる商品造りをしよう！という事で立ち上がった商品開発部会。年度の前半は夏に向けた商品造

りということで、特

に麦の郷の食品製造がパン造りから始まった歴史を踏まえ、夏に美味しく食べられるパンについて話し合い、試作を重ね、ついにオリジナルのカフェオレパンが完成しました。

ふんわりコーヒー味が広がるパン生地と相性のいい冷たいバナナアイスを挟み、口に入れると程よくミックスされた味はまさにカフェオレ！小さめで丸いコロンとした見た目も可愛いカフェオレパンは、障害者市民の夏祭りでお店すると予定の販売数70個をほぼ完売。パンを頼張ったお客様の笑顔がとても印象的でした。今後は、記念式典に向けた新たな商品造りを進めていきます。皆さん、今後とも期待下さい。

(富田)

## ■冊子部

記念冊子部では、現在記事作りの真っ最中です。今回は読者の方が楽しんで読めるような冊子を作ろうと、部員で案を出し合いました。記

なるよう部員一同心を込めて取り組んで行きたいと思っております。

(岩名)

## ■職員研修部

1月より部をスタートし、「平和と権利」をテーマとし社会問題に焦点をあてた視察研修を上半期と下半期に計画を立てる所から始め、早いものでもう8月を迎えます。

企画第1段、6月に鹿児島島へ14名の参加で、麦の芽福祉会様、国立ハンセン療養所星塚敬愛園様、鹿屋航空基地、知覧特攻平和会館へと研修させて頂きました。ハードな視察の隙間に

「西郷隆盛ゆかりの地」や

「塩湯温泉龍馬公園」

ちよつとした鹿児島を感じ

る見学をコースに入れ、素人企画の行程だけに少々アクシデントがありました。皆さんのご協力を得て無事全行程を消化する事ができました。



## ■映像作成部

自己負担無し！の素敵なお食事を企画しておりますので、職員の皆様はぜひこの日の予定を入れずに空けておいて下さいね。

(中野)

フロイネットにて開催予定です。

麦の郷の運営に尽力された方を考えています。日程は、29年3月11日(土) 18時より、タイ

11月には沖縄です。与那原町内の作業所、沖縄愛楽園様、辺野古米軍基地、対馬丸記念館、ひめゆり平和祈念資料館等、中身の濃い研修を計画しております。この機会に多数の方が参加し、心に深く印象に残る研修となる事を祈って準備中です。

28年度に入り、40周年の職員研修部は、「麦の郷職員教育委員会」と合同で活動することになり、鹿児島・沖縄の研修を生かした「人権・権利」をテーマにした全職員研修会の企画。その後、表彰式等を含めた40周年職員懇親会パーティーを企画検討しています。

表彰者については長期勤続年数スタッフ等、麦の郷の運営に尽力された方を考えています。

日程は、29年3月11日(土) 18時より、タイフロイネットにて開催予定です。

事の一つとして、6月上旬に座談会を行いました。参加者は20代〜30代の若手職員と、今まで麦の郷を作り上げてきたベテラン職員の方が参加しました。先輩職員の仕事への思いなど、普段あまり聞けないようなことを話していただき、とても内容の濃い座談会になりました。他にも、某人気バンドにインタビューを行いました。果たして彼らの音楽にかけようか...

今回の冊子はスタッフだけでなく、メンバーにもスポットライトを当てていきたいと思っています。冊子は今年の秋ごろの発行を予定しています。お楽しみに！

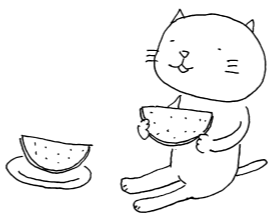
(湊)

## ■余暇支援部

40周年記念余暇支援部では、歌の作成と皆が楽しめる発表会を開催したいと思っています。

まず歌の作成ですが、仲間から歌詞や言葉を集めました。それと、同時に数力所の事業所に行かせてもらい、仲間の方から貴重な話を聞かせてもらうことが出来ました。それを元に40周年の記念になるような、少しでも皆の力になるような1曲ができるよう曲作りを行っています。

また、法人地域生活支援部と合同で12月17日(土)北コミユニティー



センターにて発表会を行います。皆で楽しい会に

映像部門では、2つの企画をしています。ひとつは全事業所に協力して頂き、事業所の歴史ある写真を集約し、5分程度のスライドショーになるよう編集をおこなっています。40周年記念のテーマ「感謝を胸に紡ぎ、繋いで伝えよう」をもとに、余暇支援部で作詞作曲された歌にのせ、麦の郷を支えてくださったさまざまな方々への40年間の感謝となかまの笑顔が届けられたらと進めています。もうひとつは、クイズ形式で麦の郷を紹介していきます。詳しい内容をまだ明かすことはできませんが、出題事業所や回答者を募り、撮影を順次おこなっています。また、撮影や編集をなかまの仕事としてポスブックメンバーが、頑張ってくれています！

(松岡)

## ■シンポジウム部

シンポジウム部会は平成29年1月21日(土)にビッグ愛にて記念講演会とみんなが参加できる企画を開催します。

現在の進捗状況として、講演会には立命館大学名誉教授 安齋 育郎氏をお招きし、ご講演頂きます。午後からみんなが参加できる企画内容を検討中です。午後からは記念式典といった形式に囚われず、みんなが楽しんで参加できるように進めて行きたいと思っています。企画や提案等があれば随時受け付けていますのでお近くの実行委員までお伝えください。

40周年記念実行委員会は次の50周年に向けてもみんなの思いに感謝し、つむぎ・つないでつたえていきたいと思っておりますのでご協力をよろしくお願い致します。

(谷口)

# 今こそ、 社会に注視を！

参議院選挙の結果は、与党の大勝、憲法改正も可能な態勢となった。選挙結果は民意の反映の一つの証ではあるが、少数派の意見が反映されてこそ真の民主主義である。しかし、情勢的には数の力で私たちの生活が脅かされる強引な政治の横行がなされるのではないかと指摘もされている。

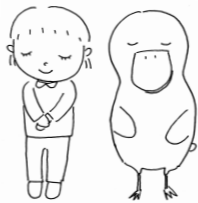
私たちを取り巻く社会保障をめぐる情勢が、行政府を主導として大きく動き出した。7月15日『我が事・丸ごと』地域共生社会実現本部が発足し第1回会議が開催された。同本部は、設置の趣旨で「介護保険法、障害者総合支援法、子ども子育て支援新制度など、各制度の成熟が進む一方で、人口減少、家族・地域社会の変容などにより、既存の縦割りシステムには課題が生じている」として、「福祉は『支え手側』『受け手側』に分かれるものではなく」「住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して」「『地域共生社会』を実現する必要がある」などと述べている。これらは、2017年の介護保険法改正、2018・2012年度の報酬改正、2018年度の生活困窮者支援制度の見直しに向けて検討を行うと

している。塩崎厚生労働大臣は同日の記者会見で、「地域共生社会」に向けて「もともと日本はそういうコミュニティを持っていた。日本の良さや強さを取り戻す試みだ」と述べ、「同じ人が支え手である時もあれば、支えられる側に回る時もあるような新しい福祉の哲学(考え方)の転換をめざす」と強調した。

このような構想が、厚労省の役人だけによる「実現本部」で検討が進められようとしていること、わが国の古くからのコミュニティと称して再び自己責任・家族依存の強化に立ち戻っていくのではないかと、支援や実践の質の大きな後退に繋がらないか、制度の協働の名のもとに効率化が強調され公費削減に繋がるのでは？等々の疑問や不安が生じてきている。

私たちは、これら社会保障をめぐる制度の動向はもとより、TPPに関する農業の問題、憲法改正の問題へとこれまで以上に注視していく必要がある。「あれはあれ！これはこれ！」と注視するのではなく、全ての問題が私たちの生活や権利を脅かすものであるか？をつなげて注視していくことが求められている。そのためには、憲法や人権に関する学ぶ機会に大いに参加し、議論を重ねながら私たちの小さな声を大きな声へと変えていきたいと思います。

(鈴木米)



はおかしいと声を上げる大切さ、③発達保障とは何かという本質から、それを実現するための実践・経営・運動のあり方、④メンタルヘルスを基にしたリーダーの行動指針、⑤きょうされん誕生の背景から、これからの実践の意義、⑥これからの社会保障制度の動き、⑦日々の出来事を憲法と照らし合わせて考えるということ、⑧社会福祉法改正の本質と、未来を守るための財務・経営管理の重要性、⑨KJ法を使ってのミーティングの進め方などを学ばせていただきました。



参加者は、住む地域も、事業所の規模も違う、様々な環境の方々でしたが、それぞれ抱える悩みはほぼ共通で、みんなで吐き出すこと、考えることで見えてくることもあると気付かせていただきました。

また、東日本大震災で被災された宮城県の方、熊本地震で被災された熊本県の方もいらっしやり、それぞれの現状と、熊本の方からは10月の『きょうされん全国大会』を、被災しながらも開催を決定した経緯とその意気込みについて聞かせていただき、ぜひ参加させていたただくと決まりました。

日頃、事業所内だけだとしても視野が狭くなりがちですが、こういう機会を作っていた

だいたきょうされんと関係者の方々、麦の郷の方々、印刷のみんなに感謝しつつ、11月に福島県で開かれる後期講習へ向けた課題に取り組みせていただきたいと思います。ありがとうございました。

(長谷)

## 2016年度 新人職員研修会

### 麦の郷へようこそ！

ここ1年間で麦の郷に仲間入りした職員は26人です。その職場は、「こじか園」「第二こじか園」「くろしお分場」「麦の郷印刷」「ソーシャルファームもぎたてムリーノ」「創力フエ」「はべるまう・テール」「はべるま和の杜」「けいじん舎」「むぎブース」「六星舎」「訪問看護ステーション」「和歌山生活支援センター」「つれもて」「紀の川支援センター」です。新規職員が入らなかつた職場

もまだあり、我が「麦の郷」は、広がったも



## きょうされん第3期 若手施設長・管理者研修《前期》

### 全国の仲間とともに 学んだ3日間

7月14日(木)～16日(土)の3日間、きょうされん本部事務所にほど近い、東京都新宿区の新宿NPO協働推進センターというところで、全国から集まった22人の参加者とともに研修を受けさせていただきました。

提出期限約1週間という事前課題と、3日間で講義9本というハードスケジュールで頭の中がショート寸前になりながらも、様々なことを学ばせていただきました。

講義では、①権利条約の内容を深く理解し、日々の実践に生かしていくことの大切さ、②支援者・家族も含めた当事者が、おかしいことに



のだなあと感じます。

新人職員研修は各職場でも行っていますが、麦の郷教育研修委員会主催で「麦の郷で働く職員として必要なものは？」のテーマで①麦の郷の歴史・理念②人権と発達保障③障害に関する制度や施策の3つの講座を実施しています。今年度は6月25日、土曜も仕事という職場もあって、欠席だった人もありましたが、16人の新人が受講されました。講師は若手の中堅職員・施設長が担当しています。講座①は、はべるま共同作業所和の杜の大中一さん、講座②は、はべるま共同作業所の大垣麻美さん、講座③は、ソーシャルファームピネルの山本哲士さんでした。3人ともちよつと嫌がりながらも熱心に準備してくれ、それぞれの持ち味と視点がいきいきと発揮されていました。中堅職員にとっても研修の機会になっています。

新人職員のみなさんは、20代から60代まで年齢も経歴も多種多様です。『地域の方々が実際に障害者の声を聴いて、障害者の姿を観て、障害者ではなく地域の一員として受け入れてくれたことはその当時から知らない私もうれしく思っただ』(受講者の感想より)。麦の郷の歩みは苦勞の連続ですが、障害のある人、地域の皆さん、そして職員、と『人』が力を合わせて必要と思われるものを創り続けています。来年は麦の郷40周年。新人職員のみなさんの新鮮な力を入れてもらい、ときに振り返ってみんなで確認し合い、これからも歩んでいきたいと思います。

(江上)

### なつこい&きずな 白浜旅行

梅雨空が続く6月24日初めての1泊2日のホームレクで13名がワゴン車2台に乗り込み白浜に向けて出発しました。

宿泊先のこれとれヴィレッジは、白いドーム型の宿泊棟が沢山建ち並びリゾートムード満点の非日常的な異空間が演出されていて日頃のストレスを忘れさせてくれる処でした。セットプランになっているこれとれ亭でのバイキングとカタタの湯を楽しみました。仲間も日頃見られない一面を見せてみんな笑顔で楽しい時間を共有することができました。ホームの名前の如くまた一つすがすがしく思っています。翌日は、程よい天候にも恵まれアドベンチャーワールドでは自由行動で、動物触れ合いコーナーやイルカショー・アニマルショー等を各自見て回りました。帰りはこれとれの湯・これとれ市場に寄ってから帰路に着きました。



く、更に楽しい思い出の1頁を共有できたことや無事に行き帰って来られた事に感謝しました。この旅行を通して気付いたことを生かし、仲間が喜んでくれるようなもつと肌理の細かい暖かい支援が出来るように頑張りたいと思います。(津野)

金曜日の夕方出発という事で、みんな前の晩からワクワクドキドキしていたと思います。定刻通り16時に出発してこれとれヴィレッジに到着して、まるでスターウォーズの世界観？みたいな近未来的な建物でなんと建物が発泡スチロールで出来ているなんてビックリ！しました。そして夕食の前にカタタの湯に入り、ネーミングがなんて素敵だと思いい、思いつき疲れがとれて、そしてこれとれ亭でバイキングがあり、今流行りのビュッフェ形式でいただいで男性が女性をリードするのも見られて、ああ、やっぱり時代は男性が女性をエスコートする時代であり、いざという時に命がけて女性を守ってあげなくてはいけないなと思いました。そして2日目印象に残ったのは2点あります。まず1点はアドベンチャーワールドに行き、みんなお土産を買ったり、動物さん達を見たりしていましたが、僕は足がすぐ痛くてあまり歩けなかったのほとんど座ってみんなが楽しんでいる様子を見て、自分自身もすぐくすぐく楽しい気持ちになりました。みんな何がいけば楽しかったのかな？と思いました。そして2点目は玉林園さんへ行き、みんなで美味しく夕食を頂きました。僕は結構どんなお店でもアットホーム的な雰囲気が好きなので、この玉林園さんで働いている方々の姿を見て本当に一生懸命に働いていらつしゃって、それでいて笑顔

### ハンバーグ製造中

けいじん舎 そよかせ食品

けいじん舎そよかせ食品では、この4月からハンバーグの製造が始まりました。この商品は、食品スーパー様の製造委託を受けたものです。1回の製造では、玉ねぎ120kg、あいびき肉200kgを使用します。玉ねぎの皮をむいてきれいに洗い、食品専用のカッターでみじん切りにします。玉ねぎ担当者は、目が痛いのががまんしながら、一日中玉ねぎの皮をむいています。大きな



一つ一つを手で丸めてハンバーグの形を整えます。手早くしないとハンバーグが手の熱で温まってしまう。冷凍庫で凍結させ、翌日、凍結したハンバーグを一個ずつ金属探知機で検査後、包装、ダンボール箱に梱包します。それぞれの工程を担当者が異物混入がないよう注意深く作業をすすめます。(宮本久)

### 第39回 障害者・市民の夏まつり

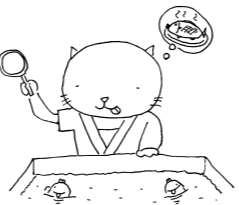


今年も暑い、熱く夏の始まり!!僕たちの夏まつり39 Thank you(サンキュー)というテーマで、ありがとう、という想いのものも、今年も7月16日(土)に和歌山城西の丸広場にて「第39回障害者・市民の夏まつり」が開催され、大勢の人で盛り上がりしました。

毎年みんなで行く夏祭り!お祭りを楽しみに来た人♪模擬店で販売や商品作りを頑張った人♪ステージ出演した人♪作品展示で絵を描いた人♪皆が主人公で、色々な楽しみ方のある数少ない



お祭りです。参加団体も増えてきていて、今年も初めて出店する団体を含め20団体の出店があり、食べ物はもちろんの事、手芸品も多く販売され賑わいました。また、作品展示も51作品の応募があり、作品展示のコーナーも華やかでした♪ステージでは、ポスツク楽団による呼び込みちんどんから始まり、昨年に引き続きダンスチームモンキーさん、常連ともいえる青年学級さんや喜笑花さんのパフォーマンス、定番のラムネ一気飲み大会や大抽選会など行われ、大いに盛り上がり笑顔で溢れる素敵な一日となりました!!因みに大抽選会では、1等の熊本牛をくろしお作業所(あいあいホーム)の森田さんが見事当選!!後日あいあいホームの皆に振る舞ってくれ、皆で美味しく頂いたのであります。



また熊本地震の支援として、熊本の作業所商品の販売、募金活動も行いました。そして、この活動の応援として、くまモン(熊本)ときいちゃん(和歌山)が駆けつけてくれ、ステージでのパフォーマンスも披露されました。皆様のご協力のおかげで、47738円の募金が集まり、熊本の商品の売り上げも42060円となりました。全体企画でも熊本へ届けようがまだせ(がんばれ)というテーマで、メッセージ書いてもらいました。今回の取り組みについては、きょうさんを通して被災地にお届けします。皆様の温かいお気持ちに感謝いたします。ご協力ありがとうございました。さて、来年は40回目の夏まつり!!どんな祭りになるのでしょうかね。(神田)

を絶やさないでいる姿に感銘を受けました。今回の「なでしこ&きずな白浜旅行」は様々な幅広い年代の方々が行きましたが、より一層みんなの気持ちが一つになったと思います。この旅行が何年か経過した時に、ふとした瞬間に良かったなと思いついたら最高じゃん!と思います。ではこの辺でペン置かせて頂きます。(宮本潤)

### 第22回 西和佐地区・麦の郷夏祭り



今回、第22回西和佐地区・麦の郷夏祭りの司会をさせていただきました。またサポーターズ会の皆さんも参加していただき、ありがとうございました。まだ夏祭りの経験は浅く、以前くろしお作業所で支援員をさせていただいていた時に綿菓子やうどんなどを売らせてもらったのが始めてで、今回司会ということでびっくりしながら、そして右も左もわからぬまま、司会をさせていただきました。本当に数回しか参加していない中、ドキドキしながら進行させてもらっていて、マイクを持って舞台上上がった時にふと祭りの様子を見ると、とても活気がありワイワイとしていて、地域の方、お子さん連れの方、浴衣を着ている方もいて、ビンゴや抽選の時に「当たった」と笑顔で走ってくるみんなの顔を見ているとこっちまで嬉しくなり、麦の郷は地域の方と密に接していることをとても感じる事ができました。世の中にはいろいろな出来事が起こっておりありますが、そんなものも気にせず元気に明るくみんなと過ごしていけるように努めていきたいと思いました。私自身とても楽しませてもらった夏祭りでした。本当にありがとうございました。(東佳)

## 助成ありがとうございました

【こじか圖】この度、社会福祉法人和歌山県共同募金会様の助成を頂き、当園が開園してから19年以上に亘って使用し老朽化していた食洗機と食器乾燥機を、新しいものに交換することができました。これからも、子どもたちに衛生的な食器で給食を作っていきます。本当にありがとうございました。



【第2こじか圖】このたびはエアコン購入に助成いただき、本当にありがとうございました。開園時は予算もなく、旧式の物でなんとか暑さ寒さをしのいでいました。今回快適に過ごせるようになり会議や相談もしやすくなりました。本当にありがとうございました。



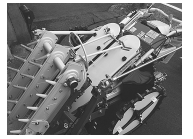
【はぐるま共同作業所 和の杜】丸紅基金様より「キャラメルポップコーンマシン」の助成をいただきました。ありがとうございました。昨年11月13日に丸紅基金様にお越しいただき助成目録の授与式を行って以来、待ちに待った「キャラメルポップコーンマシン」がはぐるま共同作業所和の杜にやってきました。和歌山ならではの美味しいポップコーンを作ってみなを笑顔にするぞ!!



【ソーシャルファームもぎたて】ソーシャルファームもぎたては今期から農業部門を強化し本格始動させました。各団体様の賛同を得て助成していただいた事業についてご報告するとともに心よりの感謝を今後の活動を通して示していきたいとの思いであります。

## ◇ヤマト福祉財団様助成報告（助成金額：200万円）

おもに有機タマネギの植えつけに使用する肥料散布機、苗移植機、トラクターを助成金により購入しました。効率化された作業により、より多くの作物を栽培することができます。労力がかかっていた肥料散布など広範囲に効率的に行えるようになりました。量産により生まれる規格外作物は加工品にしたり運営する飲食店で提供したりと、多角的な効果も見込んでいます。



## ◇日本財団様助成報告（助成金額：200万円）

助成金でタマネギ収穫機と運搬機を購入しました。それまで手作業で行い大きな労力と時間を要したタマネギ収穫作業の効率が著しく向上しました。増える耕作放棄地により周辺の農業環境が悪化する問題の解決策のひとつとして障害者雇用とリンクさせて休耕地に作物を栽培するという取り組みをますます発展させたいと考えています。



## ◇共同募金様助成報告（助成金額：89万円）

乾燥させた果物や野菜を粉砕するハンマーミルを助成金で購入しました。かねてから食品乾燥機を使い果実乾燥など行っており、それを粉末化するニーズには他社への外注で対応していました。粉砕機の購入により農作物の乾燥から粉砕までの全行程を事業所内で行えるようになり製造できる製品のバリエーションが広がり仕事の依頼に幅広く対応できるようになりました。

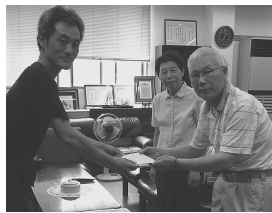


【なでしこ・きずなホーム】7月29日に朝日生命保険 労働組合 和歌山支部様より車椅子を寄贈して頂きました。ホームには1台も車椅子がなかったのでたいへん嬉しく、これから仲間の為に大事に使わせて頂きたいと思っております。ありがとうございました。



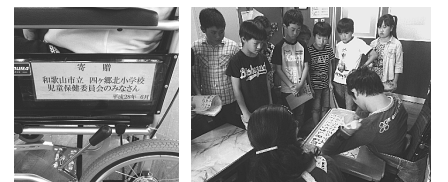
## 円応教紀の国教会から ご寄付を頂きました

円応教の皆様から、毎年ご寄付を頂いています。感謝の気持ちを忘れず、有効に使わせて頂きます。円応教紀の国教会の皆様、本当にありがとうございました。



## 四ヶ郷北小学校 児童保健委員会の皆さん ありがとうございました

6月8日、四ヶ郷北小学校校長室にて、車椅子の贈呈式を貴志校長先生と山崎先生が見守る中、生徒の皆さんが元気に進めてくれました。また、仲間から文字盤を使って「ありがとう」とお礼を言ったときに一生懸命に見つめてくれている表情が印象的でした。保健委員会の活動で「プルタブ・空き缶の回収運動で、車椅子を購入しよう」運動を6年前から実施され、皆さんのご努力でドラム缶4箱分のプルタブ・空き缶を集められたそうです。皆さんの想いがたっぷり詰まったこの車椅子、大切にに使わせていただきます。本当にありがとうございました。（城）



むきのひと



はぐるま共同作業所  
金子 弘宣

はぐるま共同作業所、製パン事業部の金子です。麦の郷にお世話になってはや7年になりますが、福祉の仕事の難しさ、奥の深さにまだまだ壁に当たることばかりで、職場のみなさんに迷惑をかけてはフォローしてもらおうという毎日です。自分では良いと思いつた行動が、仲間に対して逆効果であったことなどが続くと、だんだんと自信が無くなってきて元気がなくなってきました。しかしまた仲間の励みや道化により復活するという繰り返しで、自分よりも仲間のほうが何倍も強く、遅く、また純粹で、まっすぐで…仲間から学び見習うことばかりです。ほんとに日々感じるのですが、仲間のみんなは障害というハンデを持っていないが必ず誰しもが飛び抜けて優れているポイントがあるという事です。それも忘れてただ一つのことが他の人よりも上手くできなかつたりというだけで、少し上から目線で注意する…自己嫌悪極まりなく…ただただ反省です。初心に立ち返りできるだけ優しく目配り気配りのできる職員であることをめざし、これからも頑張っていきます。